

令和5年2月21日

交野市長 山本 景 様

交野市環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 玉井八恵子

令和4年度交野市環境マネジメントシステム 監査報告書

1. 監査日程

令和5年1月25日(月)午前9時30分から午後5時

2. 監査目的

交野市環境マネジメントシステム（以下「K-EMS」という。）を導入し、交野市が管理運営及び保有する施設に勤務するすべての者を対象に、事務事業における温室効果ガス削減と環境負荷低減に重点を置いた取組が実施されているが、令和4年度は、交野市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】を策定し、同計画に掲げた本市の事務事業による温室効果ガス排出量削減目標達成を目指し、取組の具体的取組を定めたK-EMSを改定し、取組の一層の推進を図ることとしている。

そのため、K-EMSによる取組方法及び実施状況について、特にエネルギー使用量の多い施設について、監査チームによる取組方法及び実施状況の確認を行う。

3. 監査対象

実行部署場所（7部署・7場所）

部署	場所	摘要
毎日美装株式会社	星の里いわふね	実地監査
水道局浄水課	星の里浄水場	実地監査
株式会社美津濃	総合体育施設	実地監査
環境事業課	環境事業所	実地監査
まなび舎整備課(小中学校)	青年の家	実地監査
社会福祉協議会	保健福祉総合センター	実地監査
環境衛生課	K-EMS事務局	システム監査

4. 監査チーム

所属等	氏名	所属等	氏名
交野市民	玉井八恵子	NPO法人木野環境	丸谷一耕
交野市民	北迫令子	NPO法人木野環境	上野 努
交野市 総務部 財産管理室	森本敦雄	NPO法人木野環境	宇高史昭
交野市 総務部 人事課	筑紫誠史	事務局 環境部 環境衛生課	谷口勝臣
		事務局 環境部 環境衛生課	宮下優介

市民2名、交野市職員2名、有識者（NPO法人木野環境）3名、事務局2名 計9名

5. 監査スケジュール

- 9:30～ 9:40 オープニングミーティング 監査目的確認、予定確認 (事務局)
- 9:40～ 9:50 チームミーティング
- 9:50～ 監査施設へ移動
- 10:00～11:00 監査実施①
移動
- 11:00～12:00 監査実施②
移動
- 12:00～ 昼食休憩、移動
- 13:00～14:00 監査実施③
移動
- 14:00～14:30 監査結果とりまとめ (監査チームミーティング)
- 14:30～15:30 監査結果とりまとめ (全体ミーティング)
- 15:30～16:00 監査結果報告とりまとめ作業 (木野環境)
- 16:00～16:30 監査結果概要報告内容協議 (全体ミーティング)
- 16:30～17:00 クロージング 玉井主任監査員から交野市環境部長へ監査結果(速報)報告

6. 監査所見

K-EMS マニュアルに基づいて、事務事業が有効かつ適切に運用されています。

また、貴市のエネルギー使用量の多い施設の省エネルギー対策などについて、現状の取組、対策の実施状況、今後の予定等を今回確認しました。

7. 監査結果

判定区分	件数	概要
指摘	1件	(課・施設名 環境衛生課・K-EMS事務局) 【5.各部署での取組】(根拠:マニュアル6.2.(2).6)) ・環境法令(フロン排出抑制法、廃棄物処理法等)の遵守状況について、昨年の指摘と同様一部の部署で確認できませんでした。庁内の法令該当設備・施設等の管理者、施設的能力などを調査し、法令対象施設の一覧表などに整理する等改善を本年度内に完了してください。
改善・提案	7件	【2.推進体制とシステムの管理・進行管理】 ・庁内自主監査が行われ、その報告を事務局で受けておられますが、実行責任者による温室効果ガス排出量などの対前年比の増減に対するコメント等を求めるなど現場の方の気づきを聞かれるようにされたいかがでしょうか。[環境衛生課・事務局] 【5.各部署での取組】 (施設設備等の新設・更新) ・ハイブリッド車の導入や設備(風呂の水漏れ等)修繕計画など、継続して取り組んでください。[環境事業課]

		<p>(法令遵守)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下タンクの管理、また産業廃棄物の契約書やマニフェスト管理、フロンガスの漏洩防止点検管理などを見直す余地があります。[美津濃] ・産業廃棄物の保管基準にある保管場所看板(60cm 以上×60cm 以上)を見やすくする必要があります。[美津濃] ・廃棄物の分別、マニフェストの管理、掲示など工夫する必要があります。[毎日美装] ・産業廃棄物との区分などの法令遵守の取組について、確認を含めて改善の余地があります。[社会福祉協議会] <p>(公用車の購入・更新)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池としての活用のために公用車にEV(電気自動車)の導入を検討されていました。学校が避難所となった場合の活用・必要性が高いので、計画を継続してください。[まなび舎整備課]
<p>適合・優良</p>	<p>18件</p>	<p>【システム全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回定期的に推進本部会議が行われ、特に今年度初めには、市の地球温暖化対策計画とマニュアルの改訂、前年度の温室効果ガス排出状況の報告があり、市長からエネルギー使用量削減に向けて更なる取組を進めるよう指示がなされました。[環境衛生課・事務局] <p>【2.推進体制とシステムの管理・進行管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーや法的要求事項など適切に管理されていました。[星の里浄水場] ・設備が老朽化する中、工夫して運用されていました。[美津濃] <p>【3.目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事が困難な中、今年度保健福祉総合センターでは、省エネ診断を受けられ、具体的な改善方法を外部からアドバイスを受けるなど目標達成に向けた取組が行われています。[社会福祉協議会] <p>【4.全職員が実践する取組】</p> <p>(コピー用紙の使用量、紙類の削減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体専用総合行政ネットワークを使ったLoGoチャットで情報を供覧し、紙の削減に努めていました。[星の里浄水場] ・ペーパーレス化にむけて、データ化、ファイルの共有化、タブレットを購入し、建設データのやり取りも管理できるようにされていました。[まなび舎整備課]

	<p>(廃棄物排出量の削減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員へ「マイ箸、マイカップ」を励行していました。[社会福祉協議会] <p>【5.各部署での取組】</p> <p>(環境に配慮した施策・事業の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚泥をベンガラとして利用することを検討されていました。[星の里浄水場] ・食品ロスの観点から、他市などでは福祉担当課等が取り組むことが多いフードドライブ(未使用食品を持ち寄り、食品を必要としているフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動)の取組を環境総務課として取り組んでいました。[環境事業課] ・環境講座の開催、パッカー車への市内小学生の環境教育絵画コンクールのラッピング、リユース自転車やリユース本等のフリーマーケットを主催していました。[環境事業課] <p>(施設設備の運用改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設全体の省エネ診断を実施しており、今後への対応について検討されていました。[社会福祉協議会] <p>(再生可能エネルギーによる電気の調達)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力購入先の会社を11月から「グリーンパワー大東」へ変更して、化石燃料を使用しないバイオマス100%の電力に転換していました。[環境事業課] <p>(照明器具の省エネ化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の体育館のLED化は、来年度で完了する計画を立てられていました。[まなび舎整備課] ・学校の自動水栓、自動照明の設置をすすめ、節水と、節電に努めておられました。[まなび舎整備課] ・センター内の貸出部屋(15部屋)のLED化が完了していました。[社会福祉協議会] ・会議室、廊下などの照明設備をLEDへ取り換えを進められていました。[毎日美装] <p>(法令遵守)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の管理を徹底していました。[星の里浄水場] <p>【7.公共施設利用者への要請】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水、節電など張り紙で利用者へ協力を呼びかけるなど啓発をされていました。[毎日美装]
--	--

●総括コメント

(設備の更新・改修)

- ・一部の施設の設備が老朽化しています。運転コスト削減にも繋がり、温室効果ガス削減

にも有効な取組ですので、設備の改修を計画的におこなわれることを期待します。

- ・限られた予算の中、次年度に向けて太陽光発電施設の予算要求が進められていますが、予算化できるかどうか見通しが立っていないようです。環境部だけで温室効果ガス排出削減は難しいと思われるので、補助金に関する情報提供や民間の事業を活用した事業などを始めとした他部局との情報交換や連携を密にされて、目標達成に向けた取組が他施設や他課の取組とつながって拡がってほしいと思います。
- ・断熱性能を上げる取組も始まっており、今後の取組に期待します。
- ・エアコンの温度表示やクールビズ・ウォームビズの表示、蛍光灯の間引き運転（コロナ禍では安全上休止している）、カーテン・ブラインドの活用やグリーン商品の購入など細かいところまで活動がされていました。施設全体の省エネ診断を受けて、具体的な提案を受け、検討されていました。実現に向けて、計画を続けてください。

（環境マネジメントシステムの運用）

- ・職員数も少なくなり、施設も古く、自分たちで修繕するなか、環境マネジメントシステムの運用は、真摯に取り組んでいました。
- ・積極的に、建設の設計仕様に、環境負荷の低減や、木質材料の使用を進めており、マネジメントシステムの有効性が確認できました。
- ・実行責任者と、システムの運用担当が明確となっており、運用体制が整っていました。

（法令遵守）

- ・各施設において、法的要求事項の適用状況を整理し、管理者を教育する必要があります。
- ・昨年指摘のフロンガス使用機器の簡易点検については実施が確認できました。

（目標達成に向けて）

- ・K-EMS に熱心に取り組まれました。さらに、施設管理責任者が、管理すべき目標値を意識できるように工夫する必要があります。

（環境教育・啓発）

- ・環境講座や、フリーマーケットなど、市民へ向けた環境活動を実施しており、今後も市民向けの取組を期待します。